

至誠館大学

科目名	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ			コード		
英語表記	Guidance of social work practicumⅠ					
担当教員名	梅木 幹司・横山 順一			年度	平成28年度	
基準年次	3年次	開講期	後期	単位数	1	
授業形態	実習	授業形式		履修形態	社会福祉	
授業概要						
利用者理解、職種理解を目的とした「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」に向けての学習を行う。実習の事前学習として、グループワークや個別指導を通じて実習分野や実習施設等について理解し、実習における各自の目標、計画について考察する。また、実習に向けた準備として、社会福祉士の関わる分野や施設等に関する理解を深め、実習指導者とともに各自の実習を組み立てて実習に臨む。						
到達目標						
・相談援助実習の意義について理解する。						
・事前・事後学習を通じて、実習先についての理解を深めることができる。						
相談援助に係る知識と技術について具体的な実践的な理解し、実践的な技術等を体得する						
授業計画						
第1回	オリエンテーション ～相談援助実習の意義と今後の予定～					
第2回	相談援助実習の指導 ～相談援助実習・実習指導における個別・集団指導の意義～					
第3回	実習分野の理解Ⅰ ～実習先の施設・事業者・機関・団体等に関する理解～					
第4回	実習分野の理解Ⅱ ～実習先の施設・事業者・機関・団体等に関する理解～					
第5回	関連業務の理解 ～実習先の関連業務に関する基本的理解～					
第6回	現場体験学習等 ～現場体験学習及び見学実習～					
第7回	相談援助の理解 ～実習先で必要とされる相談援助の理解～					
第8回	個人情報等について ～実習における個人のプライバシー保護と守秘義務等の理解～					
第9回	実習日誌Ⅰ ～実習日誌の記録内容、記録方法に関する理解～					
第10回	実習日誌Ⅱ ～実習日誌の記録内容、記録方法に関する理解～					
第11回	実習計画の作成Ⅰ ～実習指導者を含む協議による実習計画の作成～					
第12回	実習計画の作成Ⅱ ～実習指導者を含む協議による実習計画の作成～					
第13回	巡回指導Ⅰ ～実習担当教員による巡回指導～					
第14回	巡回指導Ⅱ ～実習担当教員による巡回指導～					
第15回	実習の振り返り ～実習の振り返りと総括～					
評価方法と基準		評価項目と割合(%)				
欠席については認めない。実習へ向けた課題への取組、実習への態度、実習の振り返り、発表などから総合的に評価を行う。		出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
			40	10		50
授業外学習		テキスト、教材				
施設への見学実習(体験学習を含む)		「ソーシャルワークハンドブック」山口福祉文化大学 「社会福祉士 相談援助実習」中央法規出版				
参考書		受講生へのメッセージ				
授業の中で適宜紹介する。		社会福祉士指定科目であり、「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」を履修するための必修科目である。欠席については認めない。出席回数が4／5に満たない場合は、単位認定は行わず、社会福祉援助技術現場実習Ⅰの履修も認めない。				
キーワード						
社会福祉士倫理綱領 実習日誌 実習計画 利用者理解 職種理解						